THE WOMAN'S WEEKLY
第三卷 第三十三號
大正 年八月十七日發行（每週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□秋風立ち初む……小橋三四子
□時事週評……
□今の職業婦人……高野重三
□白夜の散步—大井秀子夫人……記者
□赤城山頂より(三)……服部他助
□讀者から……
□初めて大きな海に 東京市の教育旅行に同行するの記……民子
□噂……
□子供の爲の唯一の活動寫眞……K生
□秋日の養生……杉田鶴子
□日に焦けた皮膚の手當……小口みち子
□唐茄子の洋風料理……鐵男
□オハナシ「虚榮娘」……廣田花崖
□默禮について……高田てい子
□小說「犬と彼等」……高田てい子
□時事……

定價一部四錢五厘（郵稅五厘）
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日とのみ競ふ

マツダランプ

東京電氣株式會社

神奈川縣川崎

電話川崎五〇番一〇一番一〇二番一〇三番一〇四番

販賣部

東京出張所 東京市京橋區銀座尾張町一丁目 電話新橋 一九三・三二一二 長一〇五九

横濱出張所 横濱市伊勢佐木町一丁目 電話横濱 一七一一

大阪出張所 大阪市西區阿波堀通一丁目六番地 電話長 四一〇九五

御照會の節は此點線を切取り御送り下されば綺麗な説明書を差上ます

御住所

御姓名

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋風立ち初む

婦人好學の傾向

□秋風さわやか

堪へ難い酷暑は、僅か數週の中に過ぎて、立秋と共に、風の色も、さすがに冴えて參りました。稍もすれば、暑さに粗漫にならうとして私共の頭腦も、再び鮮やかに働らき出さうとして居ります。夏期中、旅行や講習によつて、見聞した智識を整頓して、我が實力とするのも、今であります。學んで愈よ生れ來る疑問や問題を以て、獨り書物を獵らうとするにも誠に好適な時節にならうとして居ります。焦かるゝやうな太陽を浴みた皮膚には、一しほ秋風の爽やかさを感じて、元氣は更に百倍致します。

□專問的智識の欲求

物事の向上進歩には、永い歳月の間に、除々と變化して行く事が普通でありますが、或時は明瞭に記錄を作つて、一段階を飛躍することがあります。もし我が婦人界の觀察を常に怠らぬものであつたら、昨今の我が婦人界の智識慾の旺盛になりつゝある事、及び我が社會の婦人に對する考へが、一進歩をした事に氣付かずには居られませぬ。

既報の如く帝大の夏期講習には凡そ一割の婦人聽講者がありました。これ等の中には文藝家あり、女教員あり、令孃あり、夫人あつて、中には單に大學といふ名に憧憬がれた好奇心から出た者もありましたでせうが、然し酷暑を冒して、高尙な講義を聞かうとする、その熱心のある丈でも、誠に嬉しい事であります。其の他東北大學に於ける丹下女史は、晩學のしかも基礎學不充分なるにも拘らず、奮勵の結果は、終に血氣の青年を凌いで特待生の光榮を擔はれたるや女子高等師範助教授神林女史が帝大心理學の聽講生として、この新學期より研究さるゝ事等は確かに若き婦人等を刺戟して、一層好學の傾向を作るに至ることは必ずであります。我が婦人界も、今後は奥村五百子女史等の如く單に熱誠あるのみにて足れりとせず、深き學識を備へたる深みある人格を要求しつゝあります。從つて常識的學習より脱して、次第に專問的智識を欲求するに至るのは、必然の成行と申さねばなりませぬ。

□順境の我が國女子

一方に於ては此の春山川帝大總長が女子英學塾に於て、岡田文相が大阪の某女學校に於て、共に女子に高等教育を施すは不必要なりとして、良妻賢母たらしむべく早く嫁がしめ、子女を多く擧ぐるを以て女の光榮なりと說かれた論を見て、今なほ社會の權威者の間に、かゝる保守論を抱かれて居る事に驚かされましたが、其の文相を頂き、其の總長の統御する帝大が、早くも女子の聽講生を許すといふ快擧に出でた事は、返す〴〵も阻むべからざる時勢の進運と申さねばなりませぬ。而して歐米の婦人等の如く、強い要求の一戰もなしに、あらゆる門戸の開かれて行く、我が國婦人の順境を思ひ一層の感謝を以て、其境遇を善用して參らねばなりませぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

口文化の行渡ること遠し

或る一部の婦人等が、滔々として、向上進歩を急ぐ間に、多數の婦人はなほ文字といふ事にも、餘り親しまずに過して居る狀態です。何事も我が社會は急進する爲めか、文化の行き渡らぬ恨みがありますが、昨今の婦人界に於て、特に著しきを見ます。都會の中流以上の家庭にありながら、なほ新聞さへも手にせずして、その日を暮し・智識は、年と共に固陋となり、精神的には早くも枯死して行く者が尠くはありませぬ。また都會を遠く離れた山間や海邊には、年中生活の爲に逐はれて・文字を學ふ暇さへもなく勞働し、宛然原始生活を繰り返しつゝある一群の婦人があります。一つは都會に贅澤な生活を營み、一つは僻地に不自由極まる生活をして居るにも拘らず、兩者の精神生活は、甚だ遠からぬのであります。かゝる人々が其の固く閉したる心の扉を啓いて、文化の光明を容るゝ日が來なければ、我が文明は堅實なものとは申されませぬ。

口一般を導く社會敎育

之れ等一般の婦人開拓に必要なるは、社會敎育を益々有効ならしむるにあります。從來行はるゝ講演會の如きも、其の地方婦人の要求を見て、適當なる智識を秩序的に施す事や、圖書館と迄の大仕掛けならずとも、土地の有志家によつて、無料圖書雜誌閲覽所の設けらるゝ事や、廢物利用、改良器具等の小規模の展覽會が行はるゝ事等は、最も望ましい事と申さねばなりませぬ。この意味に於て、今回の文部省主催の家事敎員協議會に於て、議決された國立家事研究所設立の擧は喜ぶべきでありますが、また各地に、心ある先進婦人の手によつて、小規模のこれ等の催しが、親切に且つ敎育的に行はれたならば、一層有効な事となりませう。（三四子）

時事週評

口家事敎員の協議會

別項記載の如く文部省主催の家事敎員協議會は、過る十一、十二の兩日に亘つて開かれ、全國より代表者出席して、頗る盛會を極めました。これ等代表者等は、實際敎育に腐心せらるゝ方々丈けあつて、他の婦人會を見るやうではなく、意見百出、議決は眞の意味に於て、多くの意志の含まつて居るものである事は、喜ばしい事であります。更に「家事敎育を如何にして實際的ならしむべきか」との文部省の諮問に對する答申としては、局外者の立場より云へば、家庭會を盛んにして、其の母姉を敎導し、家事敎育の訓練の家庭に於て行はれ易くする事が間接の方法の如くして、最も捷徑であります。なほ國立家事研究所設立の議決のあつた事に、結構な事で。これ等が單に書物上の智識を基礎とせず、實際の考察、必要を土臺として行はれたならば、必ず有効なものとなる事は、疑を容れぬ所であります。

二

口上戶稅一億圓

年々四百萬石を釀造する酒は、今年は好景氣を見越して四百六十萬石を釀造し、酒造稅九千二百萬圓の多きに上り、それに卅七八萬石の燒酎さ、僅かではあるが濁酒の稅金を加へたら（麥酒は別）實に酒稅一億圓を突破するさいふ事であります。しから秋からこの新酒を出すに至つては、正月過には、悉く消費し盡して終う見込みであるさは、驚くべき事で、禁酒國になり或はならうさする歐米に反比例して、我が國民のこの狀態は、やがて第二の國民の體格上に、憂はしい影響を及ぼさずば幸であります。

口富豪の美擧

岩崎男爵は今回三十五萬圓を投じて、モリソン圖書館を購入し、我が篤學の士の爲公開しやうさして居ります。また久原氏は近く出張する社員の子弟を預る爲めに、先づ三萬圓を投じて家庭寮を設立せんさして居ります。彼れは全く公共の爲め、之れは一會社の便宜の爲めさの差はあつても、共に金の費途を得た企てゝあつて、眞に金錢が永遠の働らきをする道さ申さればなりませぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今の職業婦人

男子と同待遇を與へた我が社の試みたる經驗

高野礦油會社々長　高野重三

□男女の俸給同一

私の礦油會社には、多數の事務員中、只二人の女事務員を使つて居りますが、日頃の主張を實行する爲めに、男子と同樣の俸給を與へ、凡ての機會、訓練待遇等、少しも男女の別を置いて居りません。勿論常に其の成績を試驗的に見詰めて居る私には、種々の問題に遭遇し、これが個人の特有か、婦人共有のものか、婦人の天然か、もしくは境遇か、遺傳かといふ事に就て考へさせらるゝ事が多いのです

□早朝の出勤に就て

會社は朝可成り早く、七時には總員出揃ふやうになつて居りますが、女子の事務員には先づこの朝早いといふ事が、困難なやうであります。これは男が家庭を擧げて其の働らきを中心として生活して居るに拘らず、女子は夫や子女に主力を注いだ餘りを以て働らかねばならぬやうになるからであります。現に一昨日も婦人事務員の一人は顳顬に即効紙を貼つて、頭痛がすると云つて居りましたが、聞けば夫が友人と前夜遲く迄碁を打つて居つたと云へば、定めし夜更かしをしたのでありませう。夫は遊戯の爲、夜更かしするのでも、職業を持つて居る妻に斟酌する事がない程、職業婦人はまだ世の理解を持つて居らないのであります。其の他夫の都合や家庭の多忙の爲に、病氣等と稱して、社を缺勤する事は、往々ある事であります。歐米の職業婦人になれば、勿論かやうに公私混淆する事等はなく、職業を神聖視し、武士が戰陣に向ふか如き心意氣を蓄へて職業をとつて居ります。なほ朝早く出勤するに當つて、男子は起きぬけで烏の行水で濟し、膳に向つて御飯を掻き込んで來るといふ早業も出來ますが、女子は身嗜みの爲時間のかゝるといふ事も、勿論あります。

□體力なほ薄弱

次には女子の體力が、なほ非常に劣つて居るといふ事も、確かであります。月經や、產前產後といふ特別の事情のある事も關係しますが、永く椅子に腰掛けて居るのは、餘程困難らしいのです。そして甚だ疲れ易く、病氣に罹り易いのです。此の點に就て、先年米國婦人を見て感心したのでありますが、青年會のタイピストとして雇はれて來た婦人が、船から横濱に上り、直ちに汽車で東京に入り、事務所に着くや否や、タイプライターの前でバチ〳〵とやり初めました。これが日本の婦人であつたらば、先づ數日は保養し、見物してから職業に取掛つたでありませうが、其の精力は實に感ずべきものがあります。

□事務の訓練

第三には事務に馴れる事が遲く、進歩が鈍いといふ事であります。幸ひ私の會社の女事務員は、一人は遞信省の貯金課に永く働らいた經驗があり、一人は某會社に事務員をして居つた者で、何れも訓練を經て居りますが、これが學校を出た計りであれば、頗る使ひ難いばかりか、執務振りを呑み込む迄が容易でないのであります。しかも若い人達は漸く一人前になつた頃には嫁に行つて終ひなどして、使ふ方は骨折り甲斐のない事であります。

□其の他の缺點

其の他女の事務員は、世間を知らぬ爲か、感謝の念が少いやうであります。よい待遇を與へれば初めこそ感謝しますが、馴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れゝば、また不平も出るやうです。なほもう一段といふ所に、兎角女の働らきは押しが利かぬ恨みがあります。これも或は精力の足らぬに原因するかも知れませぬが、それが爲め、充分に一事を成就することが尠いやうであります。

□高まりつゝある婦人觀

然し一方には女子の執務振りには、緻密な、忠實な所があり、割合に胡麻化しがないのであります。勿論氣の弱い爲、お座なりを云ふやうな事はあつても、要するに正直に、戰々競々として仕事を守る得點はあります。思ふに其の短所とする所は、數千年來の習慣であり、社會の境遇が然らしめるのであります。既に婦人も職業を執つて、一家の生活を助け、國家の進運に貢獻すべき時運に向つて來たとすれば、社會は職業婦人を理解し、其の働らきに便宜な境遇を與ふるは勿論、婦人自ら深く反省しつゝ、其の短所を矯正して行くことに盡したいものであります。社會に婦人の保護の爲、婦人論が喧しくなるにつれ、義務も盡さず、資格もなしに、權利ばかり要求する婦人が出ないやうにしたいものであります。近年我が社會も婦人觀が次第に向上しつゝ行き、既に今夏の帝國大學の夏期講習會には、婦人にも傍聽を許したなどは、誠に喜ばしい現象と申さねばなりませぬ。婦人が眞に高まり啓かれた曉は、必ず多くの短所は改まり、快い人間となつて、國家社會を賑はすに違ひありませぬ。

四

面白かった夏(四)
白夜の散歩

——露西亞の思ひ出を語る大井秀子夫人——

◆『露西亞の夏は四月の終り頃に一週間ばかり春らしい景色がつゞくと、野邊に草が萌え、若葉が茂つて直ぐ夏にかはります。そして五六月中は白夜と言つて、夜の十時頃でも日本の夕暮れ時よりも明く、十一時十二時一時と言ふ頃になると薄暮のやうな暗がりになり、間もなく夜が明けて了ひます。この薄暮のやうな暗がりの間が夜のわけでそれを白夜と呼び人の顔がぼんやりと白く見えるくらゐな明るさでございます。

◆この白夜の頃は、露都の人達は多く夜も眠らずに街から街へと迷ひ歩いたり、馬車を驅つて島の公園へ散歩に出かけたり致します。島の公園は露都の一隅にある大公園で、北の海までつゞいてゐます。』と此樣なお噂さをなさるのは歐亞貿易商大井包高氏の夫人秀子さまである。見たところ二十五六かと思はれる髪の毛の黑い、色白の美しい方、遠氣な縞の浴衣を召してゐた。簾越しに秋草の花の美しいお庭が見える。夫人は言葉をつゞけ、

(上)大井夫人(下)露都の島の公園

◆『私は露西亞と言つても主として露都の近傍しか存じませんが、露都の人達は大抵夏期になると家の手入れや修繕などを致しますので、田舎へ避暑に出かけます。勤めの都合で家族と共に避暑に行き得ない人達は獨りガランとした家に止り、日曜日などの休み日を利用して家族の所へ行きます。田舎は物に不自由で食物などを得難いから、この時々來る人達に仕入れさせます。で夏の夕暮れ——主に土曜日——に田舎の停車場などへ行つて見ると大きな包みをかゝへた男が群をなして下車するのを見受けたものでございます。で夏の露都はガランとした殺風景なものとなります。』

◆『また露都から少し汽車で行くとパウレスクと言ふ公園がございます。この公園は廣い大きな公園で夏の夜は毎夜百人近くからなるオーケストラを吹奏致します。またその公園にはアポロの神の像その他いろ〳〵の美術品が飾つてあつて自由に見られるやうにしてございます。』などゝ仰有つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤城山頂より（三）

——自然が造つた花園——山花の誇るべき點——潔い山草の節操——山上の水——眞に一つの鏡面……激流の耳語——

服部他助

□自然が造つた花園

二三日前朝早く湖水の方から吹いて來る冷々しい北風を浴びつゝ、僅に寒さを感じながら宿所を出で、地藏嶽の裾野なる西方の廣原に參りました。未だ全く眠より醒めず、烈しく朝露に濡れてゐる此の原には、目の届く限り色さま〴〵の山花が咲き揃ひつゝ、淸香を放つてゐました其の光景の美しさは、實に何物にも譬へる事は出來ません。手は忽ち無意識に袖から飛び出でゝ、是れ等の花の幾本かを手折りました。手にした花の中には薄青色の松虫草や、深青色の岩桔梗があり、朱色の車百合があり、紅色の駒ツナギがあり、純白の唐松草があり、紫色のウッラ草があり、薄紅色のエゾ風露草がありました。而して是れ等の花を一目して直ちに心に起つて感念は、其の實に「清い」と云ふ事と「美しい」と云ふ事でありました。且つ眞に「美しい」と云ふ事の中に、必ず「清い」といふ分子が包括されてゐると思ひました。

□山花の誇るべき點

美々しい花を着けた是れ等の山草は、其の開花期中すら更らに訪ふ人もない此の淋しい高原に生ひ立つて、春が來れば土より萌え出で、夏が來れば花を開き、やがて秋去り、冬が近づけば全く枯れて終ひます。是れ等を見て惜む者一人なくとも、憾みの一言だにも、發しないのであります。現に山花の最も誇るべき點は、見る人を眞に惱殺する程の絶美を裝うて居りながら、更らに誇る術すら知らず、自然に咲き、自然に薫り、自然に散り、此くして是れ等の山草は如何に潔く其の一生を過すかの一事にあると思ひます。人は往々にして其の境遇の如何に依りて、自己の特性を失ひ、己が天職を捨て、又虚榮の虜と成つて、其の身にあり得べからざる不自然なる虚飾を裝ふ事すらありますが、花は如何なる地へ移しても、各自が授けられたる特性を失ふ事はありません。深山にありても、人里へ移されても松虫草は何時も松虫草であつて決して其の自ら附屬する山蘿蔔科植物の特性を失はぬのみならず、百三十斗りある同科中の他の種の一にさへ變じやうとは決してしません。元來此の松虫草は一名輪鋒菊と云うて、菊科植物に酷似してゐますが、其種名に「ヤポニカ」といふ名が附けられてあるやうに、兎に角多少日本に固有な植物であり、其の全體の形と云ひ、葉の着生の有樣と云ひ、其の花の大さ及び色澤や、莖との釣合と云ひ、赤城山頂に自生する數多き花の中で私の最も愛する一つですが、私が數年前北海道へ旅行して十勝平原を汽車で通過しました時、或る淋しい原野で、此の同じ松虫草が丁度赤城山頂に於けると同じ樣に盛んに繁茂して、花が滿開してゐたのを見まして恰も親しい多くの友に出會したやうな心地がして、非常に嬉しく感じた事がありました。又た山の險阻な岩の間などから生じてゐる岩桔梗の、其の小さい紫色の釣鐘のやうな花を見ますとウオータ・スコットが屢々歌つた「ブルーベル、オブ、スコットラン」に就ての話を思ひ出します。ブルー、ベル、オブ、スコットランは此岩桔梗に酷似した花で

五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あります。而して此の深山に咲く岩桔梗の、枝から下つてゐる澤山な美しい紫色の小さい鐘は一つ〳〵、靜なる寺院の鐘の樣に、朝に夕に鳴り渡つて、無限に或る深い眞理を響かせてゐるやうに思はれます。

□潔い山草の節操

是れ等の山草が他所へ移植された場合はどうであるかと云ひますと、其の固有の特性を維持する事が出來ぬ場合には、忽ちに死にます。所謂「所有物の中に生命は必ずしも最も貴きものに非ず」といふ貴い言葉の眞理を是れ等の花は完全に發揮してゐるやうに思はれます。私は久しい間、年々車百合とか、紅イチヤウ草とか、蟲捕スミレとか、蛾の塔蘭とか云ふやうな清絶な高山植物を東京へ持ち歸つて移植しやうと試みましたが、未だ嘗て一度も眞の成功を遂げた事はありません。清い高い山の頂きを住所としてゐる是れ等の植物は塵埃深い東京に生存する事をどうしても潔しとしません。節を變じても、自己の生命を完うせんとする傾向のある我れ等人間は、是れ等の花の一輪に對しても、眞に赤面せずには居られません。是れ等の山草は私が東京へ移植する度毎に、恰も「死は遙かに汚辱の生活に勝り、心の品位は遙かに生命に勝る」と絶叫して死に就いた殉教者のやうに死んでしまひます。何と潔い事ではありませんか。

□山上の水

赤城湖は通稱大沼と云ひまして、舊赤城山の中央火口の舊跡であります。其の形は不規則で略々勾玉の形をしてゐます。湖の東岸に接近して、小鳥ヶ島と云ふ周圍僅かに七百英尺餘に過ぎぬと云はれてゐる樹木鬱蒼たる小さい島がありまして、湖の大さは東西が十五丁餘、南北が九丁餘、周圍が一里と二丁斗りあります。岸に近い所は概して水淺く・湖水の中央に行くに從ひ、急に深くなつてゐます。然し最も深い場所でも二十尋以上ある所は稀れであります。齋藤讓氏の調査報告によりますと湖水の表面は海面を拔く事四千六百四十八英尺で、湖水の東側に屹立する駒ヶ嶽は海拔五千四百四十一英尺、黒桧山は海拔六千一百九十二英尺です。又た湖水の北側を包圍してゐる山嶺は海拔五千一百〇九英尺ある五輪峠を初めとして、西の方に列んで餘り高からざる陳笠山、薬師ヶ嶽、野坂峠、出張山等があります。而して湖水の西南側は、地藏ヶ嶽を構成する岩層から出來てゐて、其處水際近くに聳えてゐる地藏ヶ嶽の高さは、海拔六千一百四十英尺あります。又た此の湖水の水は、湖の西北隅より一方口となつて流出して、沼尾川となつてゐます。

□眞に一つの鏡面

此くの如く周圍僅かに一里餘の此の湖水は、四方八方山嶽に取圍まれてゐて、其の水面は何時も穩かです。風の全く凪た時には、全湖面は非常に眞に一の大なる鏡であつて、如何しても水面とは思へません。之れは少し高い岸邊から跪いて覗いて見てゐますと、青い空も、雲も、山も、樹木も、飛ぶ鳥も、木々の葉の一つ〳〵は勿論、葉脈、及び其處に止つてゐる小さい虫も、都てのもの一つ〳〵此の明鏡に映ります。此くして永く湖面を凝視してゐますと、眞の青い大空と、山嶽と、樹木は水面の上にあるのか、又は下にあるのかを疑はずには居られぬやうな心地がします。然し湖水には絶えず一定した緩かな流れがあります。風全く凪ぎた時でも、舟を湖水の眞中に漕ぎ出し、其の自然に動くがまゝに放棄して置きますと、船は自然に西北なる出口乃ち沼尻の方へ流れて行きます。

□激流の耳語

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

湖水の唯一の出口乃ち沼尻へ行つて見ますと、穏かな湖水の水は、此處に來て激流となつて滔々と流出してゐます。而して此の流水は乃ち赤城火山の所謂火口瀨であります。此處で外輪山の一部を破り、鈴ヶ峯の北麓に沿うて急駛し、熔岩層を貫通して其の兩岸に斷岸、峭壁を形成し・或は峽流となり、或は瀑布となつて西方に下る事大凡二里餘にして津久田村に至つて終に利根川に合します。

平和な濶い湖水に滿々と湛へられた水が此く激流となつて奔出し、急駛する有様を沼尻へ行つて目擊する度毎に、私は此くも靜かな美しい湖水を捨て、何故下界へ向つて水は急ぎ下るのであらうかを問ひ度く思はぬ事はありません。昨日も沼尻へ行つて奔流の上に懸つてゐる古い丸木橋の上に立つて、音を立てゝ流れ去つて行く水の聲に耳を傾けて聽いてゐますと、急流は此の様な事を私の心に耳語するやうに思ひました。

「何にが故に私が此くも清美な赤城湖を去つて・塵埃深い下界へ向つて急ぎ下る乎をあなたは怪しみますか、私には天から授けられた一の使命があります。此の使命を果さんが爲めに永く此處に止る事は出來ません。私は下つて利根川に合し、數多の平原を貫き沼澤を通り抜け・終に大海に入りますが、此の大海にも亦永く止る事は出來ず・雲と成つて大空を馳り、再び此の樂園に雨となつて歸つて來ます此くして私は一年三百六十五日の間、片時も休止する事は出來ません。而して私の天から授けられた使命は、斯く休止せざる間に完うします。山より海へ下り、海より山へ上る此の絶えざる運動に依つて人類も獸類も、木も草も生を保つ事が出來ます。而して一日たりとも私が自己の使命を打ち忘れて・一ヶ所に休止するやうな事があれば、都ての都會も町も村も忽ち饑渇に陷り、暗黑となり、終に滅びて終ひます」

私は沼尻の丸木橋の上に蹲みながら・此の激流の耳語を聽いて、水の休止せざる理由を解しました。且つ人も其の尊い使命を完うせんとすれば、此の水の如く夜も晝も永久限り無く、休止すべからざる事を教へられて宿泊所へ歸りました。

—終り—（七月廿八日）

讀者から

先頃富士登山したと言ふ友からの手紙が面白いと思ひましたから。甲斐S子

富士の五合目迄

（前略）私共は七日の一番列車で立ちました。そして大月驛に着いたのは午前八時少し過ぎ、それから吉田の宿まで輕便鐵道にみちびかれました。

半分雪におほはれた富士は長く引いた裾野だけを見せて居ります。私の心はすつかり引きつけられてしまひました。十二時に宿に着き直に脚半を着けて草鞋をはきござを着て笠をかむり金剛杖の姿も何だかはづかしいやう。馴れぬ馬に乘つて山に向ひました。「向ふに大きい松の木が見えるでせう、あそこが中の茶屋といふ所です」と馬子が言葉を無理に改めたらしいのもをかしい。中の茶屋てふ所を過ぎて馬返しに着く。此處は昔馬が此處までしか來なかつたのでその名ありと聞きます。此處で馬から下りて一寸休む。此處から少し上り道になり馬子は歌を唄ひ出す。「富士の白雪朝日で　とーけろー——」やうやく馬になれて來る。道の兩がはの草花も平和の氣が滿ち滿ちて居る。「この位行けば又休むの？」ときくと「今からわ」と又おぼつかぬ言葉づかひを始める「一合目の茶屋で休むですよ」と。この馬子がほんのまだわづか十歳か十一歳位の　子供であるのは實に驚きました。

二合目を過ぎ三合目ほどに來ると　馬はすつかり勞れてしまふ。汗を一ぱい出して鼻息があらい。「可哀さうだわ」と言ふと「こんなのは可哀さうでもない」とすまして居るには驚かされる。一休みしてばん茶を一ぱい——丁度アイスクリームを飲んだ位おいしい。再び乘馬して進むと次第に冷やゝかさを感じて來る。「少し寒くなつた事」と云ふと「わしなんか暑くつてたまらない」と馬子の返事。段々坂が急になつて來る。

最早降つて來る人も澤山ありました。白衣に小さい鈴をつけて來る人、或は紳士、或は學生みんな勞れたらしい。五合目は天地の界と言はれて居る。夕やけ雲をスーッと地平線以下に見た心持、さても拙ない筆には云ひつくされません。砂一ぱいの手をたゞ一寸ふいただけでパンを食す。こゝにて下馬。もうこゝからは　馬は登らないと此處に一泊。薄い〳〵おふとんを一枚敷いて六七人もズラリと枕をならべて休む。蚤の一ぱい居るには閉口しました。

——十六頁につゞく——

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初めて大きな海へ

府の慈善旅行の一行に加はる記

去る十日、東京灣の沿岸に在る千葉縣の八幡宿へ二葉幼稚園から十九名、王子保育園から八名、淺草橋場の同情園から十一名、櫻楓會託兒所から五名、淺草玉姫町の辛亥救災會託兒場から四名で都合四十七名の兒童が褓姆、醫員、看護婦附添ひで避暑轉地した。東京を發したのは午前十時十五分過ぎである。うす暗く雲の低く垂れ下つた空からは、思ひ出したやうに大粒の雨がぽつり〳〵と落ちたりする男の子は黑リボンの鉢巻、女の子は赤リボンの鉢巻をしたお揃ひの鉋屑帽子を冠り、胸に櫻の花の記章をつけて手に旭の丸の小旗を振りかざしたこの小さな子等の一隊は、屈托のない顔を歡びの色に光らせてゐた。旅程は押上から船橋の終點まで京成電車、船橋で各自持參の辨當を食べて此處から汽車に乘ることになつてゐる。滯在豫定は十五日間、各自の出費はすべてゞ五十錢づゝ、不足は有志の人及び東京府から補助されるとのこと出發間際の記念撮影を終ると電車は徐々に辷り出した。私も子供達に交つて行く。

＊＊

雨が晴れると風が強いうなりを上げて吹いてきた。電車は風に向つて案山子の立つた青い稲田の間や、岸邊に蓮の花の咲いた堤の邊りを疾走する。子供達は帽子も旗も先生にお預けして窓に倚る。そして稲を見て米が實つてゐると言つて喜び、案山子を見ては、「山田の中の一本足の案山子」を聲をそろへて歌ふ。堤の中で泳いでゐる人があると「先生、あたへ達も行くと泳げるのね。」と不安さうに言つたりする。桃林の中を通つたり、葡萄畑の間を走つたりするけれども・捥ぎとつた實のみを見慣れた彼等はその何たるかを知らぬものゝやうに、唯その青葉のみを珍らしがつてゐた。田圃の間を行き林を抜けして船橋に着くこの時正に十一時。

＊＊

子供達は凡そ六七歳が多數を占めてゐたけれど中には體の狀態によつては漸く數へ年四つの幼な子も二三人交つてゐた。夫れ等の子供が各自に褓姆の傍で辨當を開くのは、また面白かつた。おにぎりを持つた子もあれば、パンを持つた子もある。みんな褓姆に手とお口とを拭いて貰ふと頂きます、と言つてお茶を飲みながら食べ初める。みんなお行儀が宜い櫻楓會の託兒所では褓姆が一々食べさせてゐられる。『大變でございますね。』と言ふと『平常は獨りで食べますが、今日は汽車の時間がございますから。』と仰有る王子保育園の子供達は園長さんに汗を拭いて貰ひ帶をしめ直して貰つてゐた。此の驛からは十二時三十一分發の汽車で八幡宿へ向ふ。

『電車の窓は横に金の棒がわたつてゐたから安全でしたが、汽車にはそれがないから、子供が窓から落ちないやうに注意してやつて下さい。』と、此樣なことを誰れやらが言ふ。

『汽車は電車のやうに面白くないやい』など、言ふかと思ふと二人、三人、他愛もなく眠りこける子供が出來た。若い褓姆達は夫れ等の子達を席を作つて眠らせたり、煽いでやつたりなすつてゐた。

＊＊

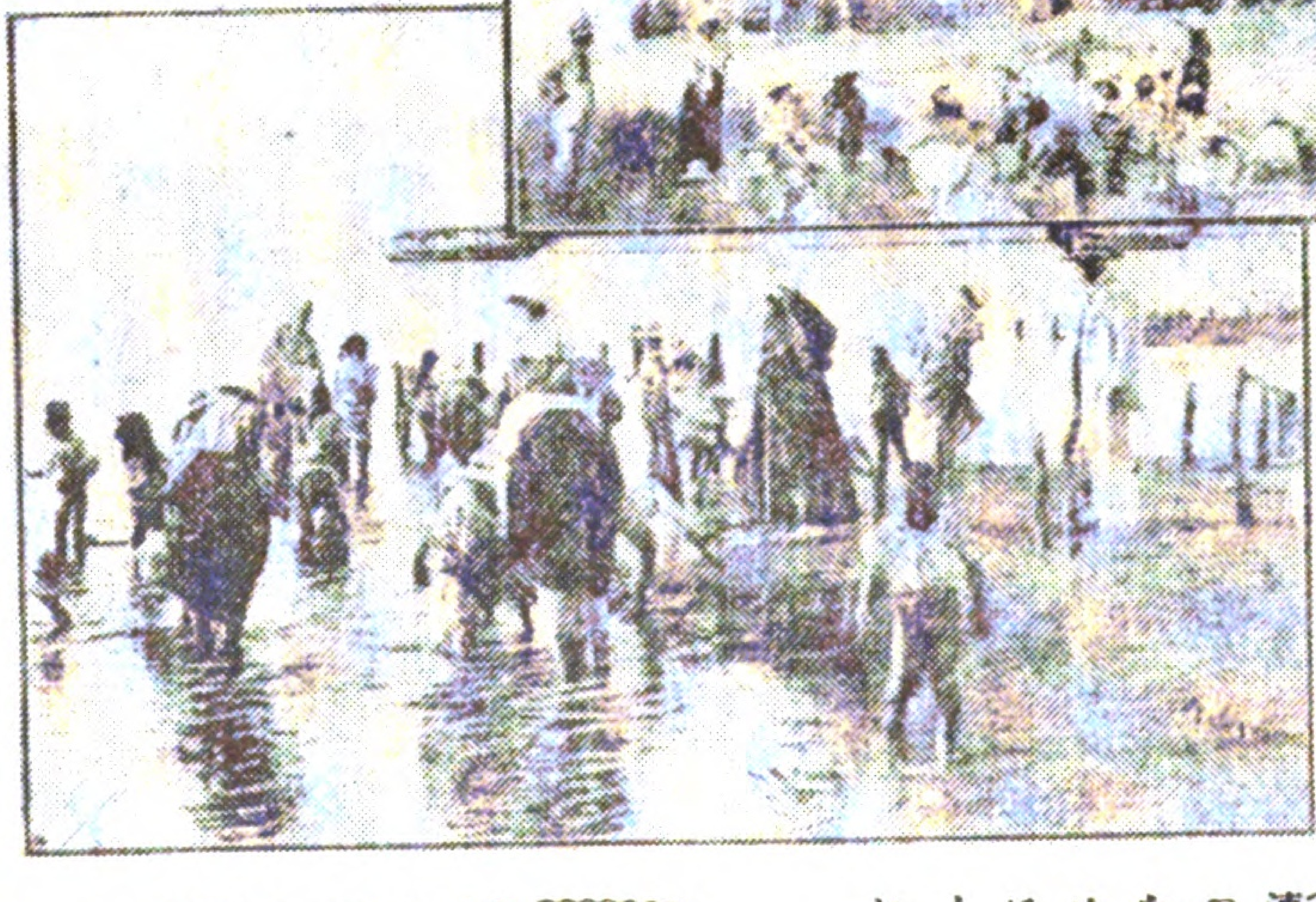
八幡の宿へ着いたのは午後二時十五分前、宿は驛前の東屋支店で宮吉氏の控家である。襖を取りはづした五室ぶつ通しの六十餘疊の大廣間は此處彼處と各々區別して居間に定められてゐた。天井の高い涼しさうな室である。玄關に當る入口の藤棚の下には冷たい淸水が溢れ流れてゐた。子供達は淸水で足を洗つて貰ふと眠さうにばた〳〵と倒れる。元氣の宜い子供はその廣い部屋の中を放たれた小鼠のやうに跳ね廻つて騒いでゐた。褓姆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

達は休む間もなく子供を一人一人捕へて體を拭いてやり行李から着物を取り出してとり換へ着て來た汗着物を乾かしに行く。目まぐるしい忙しさである。子供達は一休みするとおやつを貰つて草履を穿き、列を作つて其處から程近い八幡の境内の砂濱で遊び、そしてダラ〳〵坂を下つて海へ行つた。海は入江の遠淺で、水は特に淸らかなと言ふほどではないけれど、小波が寄せて子供の遊ぶに適した濱である。着物の濡れるのを知らぬ顔にチャブ〳〵と嬉しさうに飛び跳ねてゐた。寄食蟲が貝の中から首をのべて匍つてゐたら、「やあ蟹が貝の中に這入つてゐる。」と言つて一しきり騷ぎであつたこの子供の中に交つて有馬伯の令甥今年六つの孝悌氏も洗ひ晒しの白絣の單衣を着て交つてゐられた。東京を發つ前夜、淺草の辛亥救災會の託兒場の子等は親達から赤飯を焚いて初旅の首途を祝つて貰つたとか、此處八幡の宿へ來ても、父母のゐる都が遙けき彼方だとは誰一人彼等は知らない。唯何處かへ來たと言ふのみであつた。私は其處から歸つた翌日褓姆の一人から此樣な通信を受けとつた

＊＊

『初日の夕飯は馬鈴薯にお魚、子供達はおいしさうに食べた。食事が濟むと母の事を思ひ出す容子もなく活潑に遊戲をして町人を嘆賞させる。寢る時間になり、布團や敷布の用意をする



（上）八幡境内
（下）海邊の嬉戲

『明朝先生を起してやらう』と騷いでゐた子も何時しか寢入つた。四つになる子の一人は一口二口カーチャン〳〵と呼んだ

とごろり〳〵と横はり、電燈が消えると急にヒッソリして暗がりの中から褓姆の涼しい守り歌が哀調を含んで流れてくる

が之れも守り歌で眠つて了つた。みんなは寢冷え知らずを着てゐるから跳れても大丈夫だ。朝となる。ほの暗い内に起きた先生の側に來て、小さな子が寢呆顔て君が代を歌ひ出す。その聲を聞いて彼方此方の蚊帳の中で笑聲が起つて來る。『あらあたい、彼方で寢てゐたのに誰れが此處へ連れて來たの。』と質問する子や、かーちやんと呼んで目を覺し驚いてゐる子がある。井戸の冷たい清水で顔を洗ふ。生れて初めて楊子を使ふとかで、珍らしさうに眼を見張る子が多い。朝飯前に海へ行く。蟹などをとつて、來た。』と。祝福された子等よ。丈夫になつて歸り來よ。

（民子）

噂

▲女流作家の田村俊子さんは、裁縫が早くて非常に上手だと申します。お召のコートなども大抵は自分で仕立てる、そして夫の松魚さんに「こんな事はあなたの外知つて居る人はないのですから、私の死後は隱し藝として書いて下さいね」と申すさうです▲新らしい女の第一人者と云はれる平塚明子さんに、きび〳〵と事務を運んで氣持ちがよく、物を送つても、請取つた手紙などは、速時に來るといふと、誰れやらが、「もとはづぼらの人であつたが、朗君奧村博氏に其の點は仕込まれたんですよ」との事でした。

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（十九）

子供の觀覽を許された 唯一の活動寫眞

——入場に戸籍謄本でも入りさう——

▲活動寫眞の取り締りが嚴重になつてから數日の後に、私は問題の乙種のものとは何んなものか、わざ〳〵淺草へ見に出かけた。それは十五歳以下の子供達に見ることを許されてゐる唯一のものである。殆ど行つたことがないと言ふほど土地不案内の私は、六區へは出たけれど乙種のものが上演つてゐる館の前へ來るまでには、可成り長い間人波にもまれて苦しんだ。

▲乙種のものは今の處東京倶樂部一ケ所である、六區へ來て第一に感じたのはあの耳の底もえぐるやうな聲で、

『エ――いらつしやい。』と言ふ呼び込みの居なくなつたことであるが、館内へ這入ると二階も下も同じやうに、男子席、婦人席、同伴席と嚴重に席の區別されてゐることとである。子供を合して婦人は男子の入りに比較すると七對三の割合であつた。子供は大人の半數にも充たないやうである。十四五でも大柄な人は大人の方へ入ることを許され小柄な人は十六でも拒まれたりすると聞く。活動寫眞を見に行くのに戸籍謄本の必要な世となつたやうだといつて友人は頻りに笑ふ。

▲出し物はユニバーサル週報・困つた居候、小大尉の冒險、スクリン・マガジン、女丈夫、疑問の男の六つであつた。ユニバーサル週報は合衆國の最近の一週間の出來ごとを仕組んだもので、一大石油坑が爆發した爲めに全世界の石油の相場が狂つたことや、ルーズベルト氏が軍隊を引率して民衆に歡迎されてゐる所など、すべて今日の時事に多大に關係のあるものであつた。

困つた居候は喜劇で絶頂知らずに上る物價騰貴の今日ニユーヨークに住んでゐる或る夫婦者は男は勤めの歸へり馬鈴薯を買つてその高價に驚き、細君は夕食の肉を買ひ出しに行つて高いのに驚き、歸ると早々夫婦相談の上で下女を解雇し、夫婦で料理を作つてゐると田舍から細君の弟が來る。その弟は食事が進まないと言ふふれ込みだつたにも係らず、折角姉達夫婦が作つた料理を眞先きに一口に食べて了ふ。そして翌朝義兄と朝食を食べに行き義兄が三十五錢餘しか金のないのに六圓幾十錢か食べる。義兄が金の調達に行くとその後でまた馬鈴薯を三十幾圓食べる。そして義兄と共に警察へ引つ張られやうとすると兎も角も見せるものがあると言つて弟は田舍から提へ來たつた大行李一杯の馬鈴薯を見せて皆を喫驚させるので幕。

▲小大尉の冒險は某指令官の令孃が父の部下の兵士を五六人引きつれその半數は土人に扮せしめ、自分がその土人に捕はれて苦しめられてゐるのを他の兵士に助けさせたりなどして喜んでゐると、恰も令孃はその誕生日にかねて恨みを含んでゐた土人に捕はれ、あはや殺されやうとしてゐる所を父の指揮する軍隊に助けられると言ふ仕組み、惡はやがて亡ぶことを暗示した勸善懲惡のものである。スクリン・マガジンは動物園の光景や野菜の栽培などを寫したもの、女丈夫は野獸を手懐けて慣して喜んでゐたアリス孃が、野獸が原因で生命を捨てやうとするいきさつを描いたもの。疑問の男は探偵寫眞で、一人の男が呆然と街を歩んでゐる。一寸見ると南洋の土人のやうに色が黒い。探偵はその男に眼をつけて皮膚の表に藥を塗ると色が脱げて白くなる。之を基礎にして歩を進め、叛人を出すに至るのである。何れも無邪氣で嫌味のないものであつた。惡事をする段取りはあつてもジゴマ的な所のない、之れなら子供に見せても害はなからうと思ふもの丶みであつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋口の養生

—涼風に附け込まれぬやう—

女醫　杉田鶴子

口暑さに馴れた身に

今迄は朝も晩も少しの弛みもない烈しい暑さに馴れて居りましたので、此の頃の朝夕の涼しさをも氣付かずに遂ひ布團を剝いだまゝ朝迄寢て居たり、暑中と同じやうな積りで冷たい水を澤山に飲むとか、凉風立つて食事が進むのに連れて無闇に過食する爲めに、大腸加答兒を起したり、進んでは赤痢、疫痢の如き惡疫に冒かされて取り返へしの付かない間違ひを生ずる事があります。今年は殊に惡疫の流行が可成り劇しかりさうに思へます。

口小兒の食事

小兒は大人と異つて、丁度草木で云へば双葉時代のやうな可弱い素質を持つて居るものでありますから、食事などの時にも大人と同じ食卓で、香のものや副食物などを一所に食べさせる事は最も危險であると思ひます。一體が等閑にして居りますが食事と間食とには細かい注意を拂はなければなりません。別けても果物の如きは、最も新らしいものを少量づゝ與へるのは差しつかへありませんが、トマト―甜瓜、西瓜、唐茄子等はお腹をこはす事があります。又葡萄の皮や種子を食した爲めに烈げしい腹痛を起すなどの例もありますから、大人が付いて居て食べさせるのでなければ、矢張危險であると申さなければなりません一體に新らしいものでも果物は日沒後には與へない方がよろしい。其の他誕生過ぎ位ゐの幼兒には初めて口にさせるものを随分氣を付けなければ往々失敗事があるものですから、初めは試驗的に少しづゝ食べ習はせて段々に增して行く方法をとらなければなりません。

口喉の乾きには

夏期は何處の家庭でも麥湯や玄米湯の冷やしたものを多く用ひて居りますが、あれはいづれも八時間以上を經過すると、腐敗の恐れがあり、中でも玄米湯は、蛋白質や澱粉に富んで居て恰も重湯の如きものですから營養分が多く含まれて居て、これを飲んだ爲めに胃腸は餘分の働きをしなければなりません。それであるのにこれを喉が乾く度毎に飲むと云ふのは、結局絶えず間食をして居ると云ふ事になります。間食すれば胃腸を勞らす事になりますから、乾きを止める丈けの用に何か飲料を用ふると云ふのならば、番茶の冷やしたのでも飲んだ方がよろしからうと思ひます。これは營養にならない代りに排泄を盛んにして胃腸を洗ひ、發汗によつて體溫を發散させますから、寧夏の飲料としては此の方が適當であります。かやうな飲料水でも夜分は成る可く與へないやうにしなければなりません。而して少しでも具合が惡いやうならば、直ぐに醫者の診察を受けて、適當な處置をとらなければなりません。疫痢や赤痢になると、二三時間を爭ひますから、手當は早い程確かであります。

廣告

大島バタ通信販賣

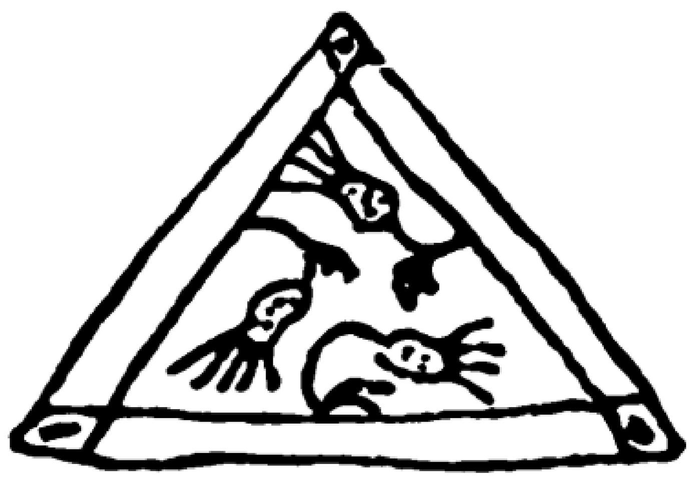
東京灣三十里の東にある空氣清新、四季綠草をもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に産せる純良、風味卓逸、心地よき黄金色の最上バタを試みられよ

定價　半斤　金五十五錢　壹斤　金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

十一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



日に焼けた皮膚の手當

天水桶の水が皮膚にはよい

美容術研究會主 小口みち子

□日焼けの顏への化粧

暑中を山に海に遊んで、すつかり日に焼けた顏を早く元のやうに奇麗にする事も必要ですが急に藥品を用ひて色を白くすると云ふ事は誠に不自然の事であつて、それが爲め却つて面白くない結果を産むやうの事がまゝあります。それで私は何事によらず自然を尊重して、與へられた範圍内でそれをよりよくして行かうと云ふのが最も當を得たやり方であると存じて居りますさういふ時、なまじ美顏術などを施すよりも、却つて其の黒い顏を其のまゝにして置いて、單に見苦しくない迄の手當をしながら、氣長に自然に美しくなるのを待つ方が宜いと思ひます。

それには、硼酸を土臺にしたりスリンの少ない化粧下を用ひ、其の上に水白粉を薄すりつけ、尚ほ叮嚀にする時には更に粉白粉をつけて、成る可く平常よりは薄目につける方が顏との釣り合ひがとれます。

□一種を選んでつける

これと反對に日焼けを防ぐ時には、今迄の方法としては濃い化粧をするのが最もよいとされて居ります。今日では、いろ〱化學的の日焼よけ化粧品がありますが、品によつてはひどく付け心地の惡いものもありますが、其の中の一種を選んでつけるのも宜しからうと思はれます。然し濃化粧をする時にでも成る可く化粧下に種々のものを用ひないやうにすれば、化粧潰れのした時にも差程目立たず、化粧なほしも容易に出來ます。これは四季を通じて心掛ける事が肝要であります。

□植物性のもので洗滌

其の他日本人は食物が植物性のものを主として居りますから平常から肌を洗滌するには植物性の糠、或は洗粉を用ひ、脂の多い部分又は毛生へ際等だけはしかたがありませんから石鹸を用ひます。避暑地殊に海岸などは水が硬いので地肌を非常に荒しますが、これを防ぐには、少々面倒でも、水を一度煮沸せて其のまゝ自然に冷えたのを用ふるか、もつと有効なのは天水桶を供へて置いて、天水で肌だけを注ぐのは誠に宜しいものです子子などが時々湧く事もありますが、これは肌の爲めに少しも害をするものではなく、却つて皮膚を調へますから、安心して用ひて差し支へありません。

化粧問答

（問）煉白粉や水白粉に使はずに出來る簡單な薄化粧の方法はどうしたらよろしいでせう（新潟、白妙）

（答）クラブ美身クリームをお化粧下として引き、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷け、別の眉刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルを指に卷付けて眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒した薄化粧が出來上ります。又た一つの方法はクラブ美身ゼリーを能く顏に塗り、乾き加減の所へクラブ打粉白粉を打付けて、輕く拭き取つて置いても宜しうございます。此のお化粧法をお採りになりますと、特に白粉をお付けになつたやうでなく、地肌が自から色白に見えますので、所謂隠し化粧と申しますのは即ち是でございますクラブ打粉白粉は、羽二重の袋入になつて居りますから、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

唐茄子の洋風料理

巽　鐵　男

唐茄子の事を西洋ではポンプキンと云つて、日本の唐茄子とは餘程用途が異ひます。日本では主に惣菜に用ひますが、西洋では惣菜にするよりも菓子に作る方が主ですが、こゝには菓子と惣菜の兩方をお話する事に致しませう。

□ポンプキン・パイ　これは唐茄子のお菓子ですが、先づ材料として、メリケン粉をコップに山盛一杯、ベキングパウダ茶匙に山盛一杯、ヘット大匙一杯、鹽少々、冷水三勺ばかりを用意して、初め粉と鹽とパウダとを篩にかけ、其の中にヘットを入れてざつと交ぜ、次に水を入れて、丁度日本のお團子位ゐの柔らかさのものを作ります。これをパイクラスターと云ひます。

中身になる唐茄子は、中位ゐの大きさのもの一個の皮と芯を除いて細かく切り、鹽少量を入れて水煮を致します。充分煮えましたらば水を棄て、其の中に砂糖三勺、雞卵一個、適宜の香料を入れて更に煮ましたらば、牛乳を五勺乃至七勺迄入れ、ごろ〳〵位ゐに弛めて置きます。次に前のパイクラスターをパイ皿に脂（バタ或はヘット）を少し塗つた上にとり、饂飩を伸ばす時のやうに、杵で伸して一分位ゐの厚さにします。そしてパイ皿の椽に少し出る加減の大きさにして天火の強いのに五分間ばかり入れます。天火の蓋を開けますと、クラスターが凸凹になつて居りますから、布巾に水をつけて上から拭つて平らにし、これに唐茄子を入れて上に小匙に一杯位ひづゝ四個所にバタを置いて、十五分乃至廿分焼きますと、表面が少し乾きます。其の時取り出して中心から周圍に三角形状に切るのです。この切目は西洋料理の法則から申しますと、六切或は八切をきまりと致してあります。

□マシド・ポンプキン　副食物の時には、皮を剥いて、前のやうに茹で・水をきり、鹽を匙に一杯と胡椒少しを入れ擂りこぎのやうなもので、よく搗きくだいてバタを加へ、肉と共に食べます。

□ベークド・ポンプキンを作りますには、唐茄子を皮のまゝよく洗つて二寸位ゐの角に切り、鐵の焼き鍋に身の方を上にして鹽をふり、上にバタを所々に少しづゝ置き、更に少量の胡椒を少し振りかけて二十分ばかり天火に入れて蒸しやきにするのです。之れを肉皿の椽に置いて肉と一所に食べます。

□フライ・ポンプキン　唐茄子の皮をとり二分の厚味に二寸の角或は丸（形は適宜）に切つて鹽を振り、メリケン粉をおしろい位ゐにまぶし付け、別に雞卵を割つて此の中に一勺ばかりの水を入れて攪き混ぜ、これを前の唐茄子へ一つ一つ付けてパン粉の上を轉がします。そしてフライ鍋にヘットを少し入れて其の中で狐色になるやうに兩面を焼きます。

巽氏は廿五年間米國にあつて料理を研究された方で、其の洋風料理にも極めて通な所があります。

御携帶にも頗る御便利でございます。

（問）天瓜粉は身體へ振つても害のないものですか（大阪、玉枝）

（答）天瓜粉にも依りますが、クラブ天瓜粉のやうな優秀な天瓜粉なら、幾らお使ひになつても差支へありませんのみならず、著しい治療的効果を有つて居ります。クラブ天瓜粉は汗や脂を吸收して水分の蒸發を促し、肌温を冷し、血管を收縮し、充血を退け、従て皮膚に清涼の感を與へますから、汗おさへ、たゞれ止め、乃至鎮痒劑として殊に夏季は片時も欠かされない必要品でございます。近頃は天瓜粉の代りに白粉兼用のクラブタルカンを愛用せらるゝ御婦人も殖えて參りました。クラブタルカンは髭剃の際・剃刀負けを防ぐ爲に、紳士間にも賞用されて居ります。何れも宮内省、皇后宮職、各宮家の御用品でございます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

虛榮娘

廣田花崖

富子さんのお父さんは以前は東京で相應に名を知られた實業家でしたが、ある思ひもかけぬ不幸のために急に零落の憂目に逢つて　東京では裏店住居もし兼ねるやうな悲慘な狀態に陷入りましたから、巳むを得ず破產の處分が濟む迄遠い田舍へ引込み、昨日に變る寂しい生活に、あるか無きかの日を送つて居りました。併し元來が頗る正直な商人でありましたし、又手腕もあつたのですから、一度はよしや零落の淵に沈まらうとも再び浮き出す機もあらう、それには丁度以前親しかつたある實業家が支配人を探してると云ふ噂を聞きましたので、破產の始末の着き次第其方に使つて貰ふやう申込んで、兎にも角にも將來の希望に其日々々を慰めて居ましに。

富子さんは田舍へ行くのは厭だと駄々を捏ねてお友達の家などで遊んでたお蔭で一月も遲れてから一人田舍行の汽車に乘りました。すると車內で不圖心安くなつた夫婦者の紳士がありましたが、種々と口が解けて來ると、何しろ富子さんは十七の今迄有得る限りの贅澤を盡して育つて來たのでしたし、それが今水呑百姓にも劣る境遇に陷入つて居ると人に思はれるのが辛くて耐らないところでしたから噓を云はうとする程の惡心があるのでもないのですが、眞の一時の虛榮心で、自分を思ひ切り大家のお孃さんに見せかけて、侍婢や馬車や立派な住居や、口から出任せに冗舌りました。ところが困つたことには偶然にも此紳士はお父さんに貸金のある人でありましたので、富子さんは今更のやうに驚きましたが何うすることも出來ません。と云つて今になつて自分を全くの貧乏人にして仕舞ふのも厭でしたから、深く訊かれゝば訊かれる程噓八百を並べ立てました。此紳士其他お父さんにお金を貸して居た人々は、以前からお父さんがお金を藏つておいて破產などと出鱈目を云つてゐるのぢやないかと疑つて居たところでしたから、是處に於てか富子さんのお父さんは事實の噓吐きと云ふことにされて仕舞ひ、親しい實業家も其樣な不正直者なら支配人に賴むことは出來ないと先から斷はつて來ました。

斯うして無先見の娘は其虛榮と虛言とに依つてお父さんの企圖を破り、一家を一層の苦境に陷入れて仕舞ひました。斯うなつてはお父さんは只自ら上京して其實業家に逢つて自分の正直を證據立てる外なくなりました。併し汽車に乘らうとて今は一錢のお金もないのですから、彼は弱つた體をトボ〳〵と東京指して運びました。すると慣れぬ旅を幾日か續けて居る中にとある町の宿屋で彼は猛烈な熱に侵され、最早一歩も步けぬやうな病人になつて仕舞ひました。併し神は何彼をお捨てにならなかつたのでせう、病は間もなく快くなつて東京へ出ては來ましたが時既に遲し、實業家は疾う他から支配人を雇入れ、富子さんのお父さんは只其正直を認められて、ある低い地位を得たに過ぎませんでした。

富子さんの虛榮の一言は永久に其一家から光榮を奪去つたのです。

□お斷り　「自然兒」は筆者の都合で、此の號は休みました。次號から引續いて揭載いたしますから、どうぞ御待ちうけ下さいまし。

□正誤　前號揭載の森村男爵の談話中第三頁第四段目終りから十一行だけは最後に入るべき分が、どうした間違か此處に介在したのですから訂正します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

犬と彼等（一）

高田てい子

梅雨どきのひくい雲が空をうづめて、暗欝な夜と晝とがつゞいた。終日さわがしい雨に暮れることが多うかつた。とき〲うすい雲をぬいて、さしてくる太陽の光りはむし〱してゐた庭の土にはいつの間にかなめらかな苔が敷かつた。なまぬるい濕氣は家のなかの隅々にまで泌みこんで、うす紙のやうな黴はどこへでもはつてきた。そして澤山な蠅が、どこからか生れ出た。

「あゝ、あ」

「今日もか」

「困るね」

泥水のやうに濁つた空を見あげて、思はず彼等は愚痴つぽい嘆息をもらした。どうしても愛されないこういふ日のある夕方晩の御飯がすんだあとで、彼等はめい〱好きなところで勝手な時間をもつてゐた。清伍は毎月ある雜誌によせる原稿を自分の書齋でかいてゐた。おれいは丁度たづねてきた弟の克次をつれて深い木立のおくのはうに下りていつた。正月ごろから同居してゐる大きい伯父さん――したしく出入するものがさう呼び馴らしてしまつた――は「乘」を四つ程もつけて、何にでも使用しなければならない一つきりの座敷で厚い洋書をひもといてゐた。

おれいは克次がくると、なるべく二人丈けの時を作るやうにしてゐた。忙しい中からでも、彼のために澤山な時間を割くのに苦心してゐた。そして克次がもつてくるどんな問題にでもありたけの心を開いてゐた。おれいの方からもいろ〱な質問を出すのを忘らなかつた。彼が心の動向に對して、よき理解者でありたいといふ姉らしい愛から二人は樹の蔭のベンチに並んで信仰、職業、性、愛などについて、ぽつり考〱へながらはなしてゐた。知識に於て克次はずつとおれいを越してゐた。けれども現實を徹してかさねてきた經驗の中から、おれいはなほ克次をみちびきうる點が多いのを知つてゐた。

彼等は喋りながら、互の内面が雜多で不統一なのを感じあつた。すこし突きつめていくときに、彼等の頭は泥濘道のなかでよろ〱した。それでもどこかに眞摯な心と心との鳴合があつた。

時が經つた。しめつぽい夜風に體が濡れるやうな重さをかんじたので、おれいは克次をうながして座敷にもどつてきた。もう十時に近かつた。その時K院――こゝには不良と名のつく氣のどくな少年が數十人收容されてゐる。彼等の住居はその院内の端にあつた。そして岡や窪地や池や畑の變化にとむ院内のながめを自由にしてゐた――の小使夫婦が娘夫婦をつれて、提灯をさげて、なにかやかましく話しあひながら、彼等の住居の横手のさゝやぶ邊を大げさにさがしはじめた。何ごとかしらと、おれいはふしぎがつて立つて行つた。

「をぢいさん、なにを探がしなさるの、今ごろ？」

「いゝえね、さつきから犬があんまり泣きますからね、こゝの藪に誰かすてたんぢやないかと思つてきてみたんですよ、こゝぢやありませんね、あなたこの邊には今頃になると捨犬が多うござんしてね、やかましくて仕方がありませんや、あんなになかれると夜ねむれないので閉口しますよ」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おれい達はこの時はじめて癇高な小犬の悲鳴をきゝつけた、それはK院の垣外の小さい流れを越して、低い空地からであることもわかつた。

「此處ぢやなかつたんですね、それにしても奥さん、今夜はあなたのところで虐められさうすよ」

ぢいさん夫婦は院内でなかつたのを歡びながらかへつていつた。犬は幼いこゑのうしろをながく悲しくひいた切れるやうにないてゐた。一度その聲が彼等の意識に透つてから、相談したやうに彼等の注意はその聲にあつまつてきた。伯父さんは本を閉ぢた。清伍はかきものを止めてしまつた。おれいは夕がた向ふの道で子供達がわい／＼かたまつてさわぎ立てゐたのを思ひ出した。その時おれいは臺所の仕事にまぎれてゐた。水を汲みながら氣忙しく子供のはうを一瞥した丈けであつた。そのときが捨犬をとりかこんでのさわぎであつたらうとうなづけた。

「困るね、一晩ぢうあゝして鳴いてゐるんなら、ほんとに今夜は眠れないかも知れないよ」

清伍はほんとに困つたやうな聲をだした。病弱な彼にとつてすこしでも眠りをうばはれることは何より苦しかつた。それにもちまへの潔癖から清伍は犬など愛す氣にはとてもなれなかつた。埃りにまみれた毛の下に、ダニが吸ひついてゐたり、蚤がくゞりまはつてゐたりするのを思つた丈けでも唾を吐きだしたくなつた。なんでも嗅いで舐つて嚙ぢつてあるくのも清伍にはいやであつた。おれいにも犬はたゞ無氣味できたなくて怖い動物であつた。大きい犬がのつそりと、夜の道の暗いかげから出てきたりすると彼女は意氣地なく鼓動を高めてゐた。自分の生涯に犬を愛する日がこやうなどゝは遊戯にさへおれいは思ひうかべてゐなかつた。

「克次、一寸いつてごらんなさい、そして呼んでみてね、崖からあがつてきたら、もつと遠くへ捨てゝきて頂だい、可愛さうだけど…」

克次はすぐ出ていつた。清伍もつれだつて行つたのが後で知れた。おれいはしきりに可愛さうだと思つた。おれいの胸には憐愍の情がいつもより濃度に醱酵してゐた。好き嫌ひの感情をべつにして、それは前の日よんだある人の短い感想文からの刺激によつてゞあつた。そして捨てゝくるやうにと克次に言つたことばは、彼女のほんとうの心に反むいてゐた。

頂上して下山まで

―第七頁のつゞき―

翌八日朝一時に起きて仕度、たゞ口なすゝいただけで、むすびを食べる。二時の打たない前に出發、冷やかな朝の氣うけつゝ開かれんとする別天地さしてのぼる。

はきなれぬ草鞋に幾度か足を止め急がすに〳〵さいふ強力の言葉を耳にしながらもなほ先の人に續き度くてたまらない。山路の傾斜の甚しい爲か、空氣のうすくなつたためか苦しい事〳〵。やうやう東天が白けて來る。七合目程より急に登山者が多くなる。

七合目を去る二、三町にして東天全くひらけ、赫々たる太陽は美しいフエースを出し始めた。一時に皆の者は足を止め等しく東に向いて御來光を見る。盆ほどの太陽！一同「萬歳」を叫びました。

七合目から八合目までの間、長いやうに覺えた。

やうやく八合目に着く、その上の苦しい事。私などは前から引いてもらつて後から押してもらつて、……それこそこんな處をカメラにおさめられたら富士登山などゝ大きな顏も出來ない位。いよ〳〵苦しくなる。息は切れる。顏は青ざめる。

やつと頂上に着いた時！　なんとも言ひ得ぬ感に打たれました。先頃差上げた繪はがきは此處で書きました。名代のおはぎ一つ三錢―を以て再び勢を得て八合目まで下る。下りは餘程らく、でした。

さて八合目から五合目までは砂走りさ言つて石と砂との最も急な所でこゝをかけて下るのです。はじめの間は面白いさも思つけたが中ほどからは足が痛んでたまらない。五合五勺まで下りた。時雨が少し降つて來ました。それから一增はげみをつけられて五合目まで下つた時は十二時。顏から頭から手も足もみんな砂だらけ、でも手も洗はずにパンをいたゞく。再び下りて馬がへしまで、馬がへしから上馬して吉田の宿まで、それから宿まで步く。こゝから後家までは殆ど夢中でした。ねむたいやら勞れやらで。八日の午後十一時頃勞れた體を汽車や車にゆられて家に着いたのです。

拙い筆でやつとこれだけ書きました。また折を見て御知らせいたしませう。

・　・　・　・　・

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口宮殿下の御登山　久邇若宮朝融王殿下には御十七歳に渡らせられますが、十四日午前六時吉田口より御出發、同日午後五時十五分八合目に御着、此處に御一泊の上、翌早朝御頂上遊ばされ、直ちに御下山、午後五時の御殿場發にて御歸京遊ばされました。宮の御登山は殿下を以て嚆矢と致します。

◉支那の宣戰決定、支那の對獨宣戰は愈決定し、國防に關して軍界重要の人物を以つて國防委員會を設けるなど、準備も充分に調つたやうですから、十三、四の兩日中には多分布告の運びになる事と思はれます。尚在留の獨人に對しては、營業停止、火器武器の檢擧保管を初め、自由行動を許さぬ事、通商貿易を禁ずる事、武裝解除の獨艦は、沒收する事等の處置が決定しました。

◉有望なる婦人軍　露國婦人軍は終始戰線にあつて兵士同樣獨兵と戰鬪を交て居りますが、自己の體力上到底戰鬪の如き荒き動作の困難なものもある由です。然し男子兵士の間にあつて其の殺伐心を柔げ、鬪爭を斷念せしめ、掠奪飮酒を止めさせるなど彼等の精神上に裨益する處が多く、同國の某將軍の如きは各軍ともに少數なりとも婦人軍を是非參加せしむる事は甚だ有益であると申して居るさうです。

◉伊太利大使來朝　新駐日伊太利大使クサニ、コンフッロニエル侯は十三日春洋丸にて來朝されました。大使は外交官生活に入つてより本年にて已に三十二年になられますが、東洋への渡來は公私とも今回が初てゞあると申します。大使の家柄は伊太利は愚か歐羅巴に於ける有名な舊家で、其のコンフッロニエルのコンフッロンと云ふ事は彼の十字軍の折、常に陣頭にあつて軍旗を持つた人と云ふ意味であると申します。又別にシッリー・ド、マルタの稱號がありますが、これは十五世の間一度も平民と結婚せざる伊太利の貴族のみが有して居る稱號である由です。

◉授爵任官　十四日午前十時三十分宮中南溜の間に於て、波多野宮相、仙石宗秩寮附事務官參列の上

正三位勳一等法學博士　奥田義人
從二位勳一等　松岡康毅

に對し、勳功に依り特に男爵を授けられました。なほ樞密顧問官には先頃來二名缺員中の處、從三位勳一等法學博士一木喜德郎氏を以て補闕親任の御沙汰がありました。

◉准尉候補の入校式　歐洲大戰亂に鑒みて陸軍省では新に准尉制度を設けた事は既報の通りでありますが、其の第一期學生の入校式は十日陸軍士官學校で擧げられました。總て二百八十七名何れも全國の聯隊から試驗の上選拔された特務曹長で、日清日露の役に參加して武勳を樹てゝ居る古武士も澤山加はつて居ります。

◉海底より水雷艇發見　日露戰役去つて既に十三年、明治卅七年十二月十四日旅順港外に於ける港口封鎖の折から降りしきる風雪を冒して敵の艦艇を襲ひ、敵艦をして再び抵抗し能はざる迄に至らしめた此の決死的大夜襲に參加した三等水雷艇五十三號は、其夜不幸敵彈を被つて艇長以下十七名の生命を乘せたまゝ、海底深く擊沈されて今日に至る迄其の姿を見る事が出來ませんでしたが、計らずも最近老鐵山東方の深き海底に同艇の横はれるを發見しました。艇は長さ百十二呎幅十一呎六吋排水量五十四噸、速力二十節、發射管二門を有したものであります。

◉家事科教員協議會　十一日午前八時から二日に亘る文部省主催の全國家事裁縫教員協議會がお茶水女子高等師範學校に於て開かれました。出席者は裁縫科七十七名、家事科六十七名にして、女子高等普通教育上最も實際的なる兩科目に就て時勢の進運に從ひ、社會上教育上確固たる方針を立て、又其の教育の方法を改善して教育の効果を一層有効ならしめやうと云ふ考へから起つたものであります。

△家事部は　同校講堂に於て教授後閑菊野女史部長となり文部省の諮問案たる『女子師範、高等女學校に於ける家事科教授を一層實際的にする方法如何』と云ふ問題より國立家事研究所の設立の建議を初めとして、會員提出の廿三問題が議せられましたが、國立家事研究所設立は即時議決されました。同研究所の內容も發表されましたが、事業としては世界各國の國民生活狀態を調査する事、婦人の衛生問題を調査する事、常設の參考館を設くる事、家庭の副業の研究指導、圖書館設立等有益なる事項が多々ございます。又

△裁縫部は　教授成田順子女史が部長となり附屬女學校の方で開かれ先文部省諮問案の『高等女學校裁縫科に於る裁方教授を一層有効ならしむる方法如何』と云ふ問題を議しましたが、答申中には「教材を基本的のものにとり、之が教授の徹底を計る事、但し基本材料は本裁とし、小裁、中裁は應用する事」「他學科、特に數學、圖畫との連絡を十分にする事」等がありました。其の他會員提出の議題に就ても討議致しましたが、何れも熱誠な協議を經て閉會しました。

◉市の慈善旅行　慈善協會の會員になつて居る各保育所の聯合計畫で、東京に住む身體の弱い托兒五十六名は十日千葉縣市原郡八幡町の海濱に轉地しました、その內譯は二葉保育園十九名、同情園十六名、櫻楓會托兒所五名、辛亥救濟會六名、王子保育院十名であります。そしてこれには二葉保育園から四名、同情園から二名。その他の三ヶ所から各一名の保姆が兒童の世話役として加はる外、一名の醫師と一名の看護婦とが添へられ給養主任、雜役夫、書記、幹事各一名同行しました。八幡町は此の擧に多大の贊成をなし、同町の宮吉長五郎氏は自分の邸家を宿舍に提供し、賄費全部は同町で負擔する由です。尚ほ其他の費用は有志の寄附になたものです。尚當日都合の爲不參の兒童が九名ありました。

◉岩崎家に入りし珍書　岩崎小彌太男がモリソン博士の有名なる圖書全部を三萬五千磅（三十五萬圓）にて購入し、新たに東京に圖書館を建て、ドクトル・モリソン圖書館と名付け眞摯なる研究者の爲めに公開すべしと傳へられます。同圖書はモリソン博士が廿餘年に亘つて集めたもので、東洋に關する書籍は一切金を惜まず買集め、中には到底二冊と得られぬ珍本も隨分あると云ふ事です。斯くの如く苦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心して蒐集した書籍を手離す事は氏としては望ましくない事には違ひありませんが、氏の三人の子弟の爲めに遂に金に代へる事を決心されたのであるとの事です。

◉久原氏の家庭寮

大阪の實業家久原房之助氏は今回小石川丸山町に一千二百坪の地所を求め三萬圓の創立費を以つて一種の家庭寮を設け、自分の事業に關係して遠く朝鮮、滿洲、南洋と働きに行く重役乃至社員等の子女の教育をしやうとの計畫を立てました。これが全責任は巢鴨の帝國小學校長西山哲治氏が負はるゝ事となり、今回は第一期として男子四十名女子十名を收容し得べき二百一坪の建物を建築し、棟を替へて男女を同じ園内に收容し充分なる監督の下に性に對する理解と鍛錬とを理想的に琢磨したい希望であるさうです。尙ほ舍生一人一ヶ月の食費は九圓外舍費と監督費とは三圓宛で其の他の不足は久原氏が補助さるゝ事になつて居ります。

◉逝ける人々

△木戸侯爵　宮中顧問官貴族院議員從二位勳二等侯爵木戸孝正氏は胃腸病にて十日逝去されました、享年六十一歲、特旨を以つて正二位に叙せられました。△林樂長　宮内省樂部樂長林廣繼氏(七三)も亦慢性胃腸にて八日遂に永眠されました。氏は京都笙の家元林廣輔氏の長男であつて、幼時より國學に趣味をもち六歲より能の舞をよくし、孝明天皇に召されし事もありました。九歲の時十五歲の資格を持つて宮中に出仕し樂部に仕へ、明治を經て今日に至りしものであると申します。

◉中等教員の新傾向

本年の中等教員檢定受驗者は延人員四千四百十七人、人員四千〇三十六人、昨年に比して二百二人足らずの增で加す、此中婦人の出願者が家事科二百九人、裁縫科四百人、其他の課目は何れも非常に少數で問題にならぬさうです。試驗は八月十八日を以て終了しますが、十一月の本試驗に篩ひ落されるる數が毎年十分の九の多數を出して居ます。しかし裁縫科だけは一割五分の割合に合格するさうです。受驗者の中には隨分變つたのがあつて。男子に裁縫や家事科を受ける人々も二三人あり、女子で男子の領分とも申すべき博物、理科、法制、經濟、等に進むものが年々に增加する傾向のある所など、注目すべき趨勢だと思はれます。

◉特殊小學校の新設

東京市下谷區役所にては區內細民の兒童を收容すべき特殊小學校新設の必要を認め、十二日市長宛に龍泉寺町、金杉下町、谷中初音町、の三校新設を申請しました。

◉暑中の授業

今秋行はるべき陸軍特別大演習の中樞地たる滋賀縣彥根町の小學校では、同校が十一月十二日より十七日頃迄演習中、統監部に使用さるゝ事となりし爲め、其の間約四十時間の授業時間補缺を夏期休暇中に補充する目的にて、約二千四百名の兒童を學校に召集し、又一方には朝起き奬勵の爲めなりとて、毎朝午前五時半若くは六時迄に登校せしめましたから、兒童の多數は朝飯を口にせずして登校せるにも拘らず、學科を授け、烈日の下にも運動をなし、或は正午過ぎ迄校內の大掃除をなさしめし爲め、他處よりは暑氣甚しき土地の事とて、兒童は其の過勞に堪へず、卒倒するもの續出し、甚しきは一級六十人未滿の生徒中二十餘名を出したる學級もあると云ふ事であります。教育界の由々敷問題と申さればなりませぬ。

◉產婆講習生の募集

東京帝國大學醫科大學附屬醫院では、來る九月廿五日試驗の上產婆講習生十名を募集して居ります。志望の方は本月四日の官報第一五〇三號を御覽になれば規則の詳細がわかります。

◉赤帽料金の値上げ

停車場で手荷物を運搬する赤帽が一個の料金二錢を五錢に値上げする事になりました。然して今迄は料金の一定せるにも拘らず祝儀的に十錢廿錢を投ずる習慣になつて居ります爲め、これを防ぐ必要上切符制度とし電車の切符の如く一回券と回數券とを出してはと云ふ案もありますが未だ確定迄には參ゐつて居りません。

◉蕎麥の値上げ

物價の騰貴に伴れ今春三錢五厘とあつた蕎麥が四錢となり、それでもなほやり切れずとて、京橋疊町及び同區鈴木町の兩藪蕎麥では、去る八日から もりかけ一個五錢に値上げを實行致しました。これに習つて、總ては市內全般の値上げともなるらしく、目下寄り〳〵協議中であります。

個人消息

△田中はる子　天下の糸平田中平八翁の未亡人はる子刀自は、八十一の高齡を以つて九日麻布市兵衞町の自邸に逝かれました。刀自は二十歲の時糸平氏を養子に迎へ、夫を助けて奮勵苦鬪巨萬の富を積み、晚年は專ら子女の教育に一身を捧げて居られた方です。

△水野政子　內務次官水野錬太郎氏令孃政子(十六)は相州腰越に避暑中、疫痢に罹り、十四日遂に亡くなられました。孃は昨年學習院初等科卒業の際は首席で、皇后陛下の御前で祝詞朗讀の光榮を擔つた程のオ媛でありましたのに誠に惜しむべき事であります。

人事相談所

十八

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大妻技藝學校
第三回 個人教授 夏季講習會

會場 東京麹町區上六番町七番地 大妻技藝學校

電話番町一二二〇番
振替口座東京三一六〇九番

科目

△生花盛花投入茶の湯 △縫細工科 △絹細工科 △摘細工科 △袋物科 △編物科作法科
△裁縫科△儀式用折紙並に水引結方科△刺繍科△絞花科 △壜細工科 △染絞科 △造花
△ドローンウオーク

開催期日ハ八月中午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ニツキ開催期間中ハ隨意ニ入會スルコトガ出來マス。校則並ニ講習細目御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ。

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地
齒科醫學士 大久保透

シンガー裁縫院 生徒募集

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修 ●毎月五日迄入學

今は大人も子供も、婦人も老人もローマ字の讀み書きが出來なければ全く時代遅れである。

ローマ字界の權威日本のローマ字社發行

田中館、芳賀、田丸三博士合著
七版 **ローマ字獨げいこ** 字綴りがるた添 定價二十錢 郵稅四錢
大人の初學者用として、又教師用として、ローマ字學びの燈火である。

同上三博士合著
五版 **ローマ字讀み方** 字綴りがるた添 定價十錢 郵稅二錢
兒童用生徒用の教科書として、自習用書として、これに越した本はない。

日本のローマ字社編纂
三版 **ローマ字習字帖** 諸名士の筆蹟入 定價十二錢 郵稅二錢
日本語を材料にした完全なローマ字習字帖、特に卷末に添へた諸名士のローマ字筆蹟は趣味が深い。

發賣元 東京神田南神保町 岩波書店 振替東京二六二四〇 電話本局五四二〇

ローマ字學びには權威ある日本のローマ字社出版のこの三書を撰べ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副院長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番
院長　醫學博士　高田畊安
東洋內科醫院

電話ちがさき二一番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場牛里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他
南湖院

大黒天印　赤　白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
發賣元　東京市日本橋區通旅籠町
甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門
大野醫院
（入院隨時）
院長　耳鼻咽喉科　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七
東京至誠病院

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語專門私立　櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

產科、婦人科、小兒科
女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京　二二三一番）

家庭衛生講習會
一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間　自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會東京部會。
一、講習主任　醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA